



セルリーの仲間には、大型セルリー（大株で出荷、葉柄に色により黄色種・緑色種・中間種）、カッティングセルリー（野生種に近い品種で小苗の時に刈り取って利用し、スープセルリー・芹菜とも言う）、根用セルリー（カブのように肥大する根を利用し、セルリーアックとも呼ばれています）があります。

今回は大型セルリーで葉柄が緑色で露地栽培ができるグリーンセルリーを紹介します。露地栽培されるグリーンセルリーはセルリーの美味しさを醸し出す独特の香気が強くこの香りには人により、好き嫌いの差が大きいのが特徴ですが、肉類のシチューやスープに適しています。

1. 種まき

一度の消費量が少ないので近所の園芸店でグリーンセルリーのポット苗が販売されていれば購入した方がよいと思います（定植期は7月下旬頃です）。タネをまく場合は時期は5月上旬～6月上旬で赤土と腐葉土を7：3で混ぜて用土を作り、育苗箱に入れ種をスジまきにし、ごく軽く覆土後かん水して新聞紙をかけます。発芽したら新聞紙を取り除きます。

2. 間引き・鉢上げ

発芽して本葉1～2枚のときに混み合っているところを間引きます。本葉3枚の時にになったら播種床と同じ用土を使用してポリポット3号（12cm）の鉢上げし、本葉7～8枚になるまで育苗します。

3. 畑の準備

定植2週間前に10㎡当り苦土石灰1kgを全面散布し、よく耕しておく、定植1週間前にたい肥を10㎡当り30kg、元肥として化成肥料を10㎡当り1kgを散布し、幅1.2mのベットを作っておきます。

4. 定植

本葉7～8枚になったら、条間40cm、株間40cmの2条植で定植します。植え終わったら十分灌水をします。乾燥を嫌うので切りわらを株間に敷いて乾燥を防ぎます。

5. 追肥

定植から15～20日後と40日後の2回に分けて化成肥料を10㎡あたり500gを株間に施します。

6. 病虫害防除

病害では斑点病、軟腐病 害虫ではハモグリバエ類、ヨトウ類等が問題となります。発生の初期に防ぎます。

7. 収穫

定植後60～70日後から収穫ができます。大きくなった株の外側からかき取るようにします。遅れると硬くなるので若いうちから収穫します。